

# やってきました！ 一日関東農政局



△農業者の要望に答える大隈局長（左）

昨年十一月十六日、関東農政局の大隈清司局長をはじめ、関係職員約四十人が来町しました。

これは、年に一度、関東農政局が関東地区の市町村を巡回するもので、甘藷町に訪れるのは今回が初めてとなりました。

一行は来町後、現地調査として、三木崎三郎さん（白倉）のさやうり栽培ハウスと、JA甘藷支所の集出荷センターを視察しました。その後、町を代表する農業者と意見交換会を行いました。

ました。

次に、出席した農業者が日ごろから感じていることなど質問や要望の一部を紹介しました。



専任フル子さん  
（小嶋）  
甘藷産出者会  
アドバイザー

○これからの子どもたちに、農業のすばらしさや自然のおもしろさを体験できる場を、楽しみをもって安心して働けるような社会になるよう、強いバックアップをお願いします。



理事 英さん  
（白倉）  
産直農業者

○米価の下落により、野菜等への転作が進むなか、外国産野菜の輸入の増加で野菜も総体安価になっています。そのため、経営が困難になり、離農する人も見受けられます。この状態をどう思われているかお聞きします。



青森県志士さん  
（飯沼）  
甘藷産出者会  
専任役員

○パツコンの普及がめざましいが、農業者が導入しやすすいような物販はないのですか  
○後継者が就農しやすすい環境を作り、後継者不足の解消になるよう、有利な制度を用意してほしい。



白田悠一さん  
（上野）  
甘藷産出者会  
専任役員

○有機農産物は少産生産が多いが、認定制度のねらいは、  
○経営安定対策を行う前に、早急に農産物の価格を安定させてほしい。



田中美穂子さん  
（上野）  
甘藷産出者会

○輸入自由化の影響を受け、農産物がここ数年、再生産もおぼつかないほど安価状態が続いていることに対し、農林水産省では何か対策を考えていますか。



中里和明さん  
（飯沼）  
甘藷産出者会

○認定農業者を推進する趣旨を教えるべき。  
○米の作況指数や自給率を、もう少し消費者が分かりやすいように決めたい。



吉原均司さん  
（大田）  
甘藷産出者会  
アドバイザー

○同じ農業に携わり、農業で生きているのに、農業者と官僚の距離がありすぎます。「農業者の声」(農業者の心)を理解してほしい。また、農林水産省とのホットラインを充実してほしい。



高橋茂子さん  
（大田）  
甘藷産出者会  
代表

○米の生産調整が出畑の農産物を生んでいる要因とも思われます。農林の産出対策についての考えをお聞きします。  
○地域の節電加工施設の設定と定額の補助をしてほしい。



高橋 孝さん  
（飯沼）  
甘藷産出者会

○輸入農産物の増加に伴い、大きな打撃を受け深刻な問題になっています。この問題はどう考え、今後輸入農産物に対して、農業者のための対策について教えてください。



青森県志士さん  
（飯沼）  
甘藷産出者会  
アドバイザー

○女性が生き生きと農業に従事するために家族共働きの充実や、女性が参画できる場をもっと用意してほしい。

関東農政局では、農業者一人ひとりの声に対し、「食料・農業・農村基本法」に基づいた考えを説明され、農業者の要望に答えていました。